

## AnyClutch Remote 導入事例：ITX 株式会社 様

### 厳格なセキュリティポリシーで業務運用されている同社が選んだリモートデスクトップサービス

時間や場所を選ばず社内のデスクトップパソコンへセキュアにリモート接続  
AnyClutch Remote の再販でもデモンストレーション用に活用

#### 導入効果

- 1: 社外からセキュアに会社の業務パソコンにリモート接続でき業務効率が向上
- 2: 周辺機器の管理が不要になり、維持管理に関わる運用コストを軽減
- 3: AnyClutch Remoteのサービスの再販におけるセールスプロモーション活用
- 4: 災害対策・パンデミック対策としても有効に機能

#### AnyClutch Remote カスタムプロフィール



社 名 : ITX 株式会社  
事業内容 : テレコム事業を中心とした情報通信サービス事業  
本社所在地 : 東京都港区芝浦 4-13-23 MS 芝浦ビル  
社 員 数 : 2,370 名 (正社員 948 名 2014 年 3 月 31 日現在)  
U R L : <http://www.itx-corp.co.jp/>

#### 導入の背景

##### 自宅や店舗など社外からセキュアな環境で社内の業務パソコンに接続する必要がありました

弊社の事業の一つに携帯電話のキャリアショップの運営があります。先ずは、この事業部の管理職以上の社員向けに、「いつでもどこにいても仕事ができる環境を用意しなければならない」というニーズから始まりました。

その管理職以上の社員は、基本的に土日祝日が休務日で自宅にいますが、店舗は営業しており、提出する見積書の承認や各種契約書面の承認など、店舗からは曜日や時間に関係なくワークフローシステムによる決済依頼が発生します。携帯電話のキャリアショップという競争の激しい業界ですから、土曜日に発生した各種事案が翌週の月曜日まで決済できないという事態は避けなければなりません。また、平日においても担当するエリアの店舗に出向していることが多く、定期会議の出席以外はほとんど社外にいることとなります。

一方で、弊社が定めるセキュリティポリシーにより、業務で使用する端末は、各社員の机上にあるデスクトップパソコンと定めており、自宅や店舗にあるパソコン、あるいはノートパソコンでのメールやワークフローシステム等の業務使用を禁止しています。

実は、AnyClutch Remote 導入前も、他のリモートデスクトップサービスを利用していたのですが、一つ問題がありました。それはサービスを利用する時に、遠隔操作側（自宅や店舗）のパソコンに dongle が接続されていないとできないことでした。これは、外部デバイスの接続を制限したいというセキュリティポリシー上の観点や、常に dongle を持ち歩かなければならないという、運用上の観点からも課題でした。



ITX 株式会社  
管理本部 情報システム部  
業務改善・運用担当 主任  
飛田 雅俊 様

サービス選定のポイント

セキュリティの確保と利便性の維持の両立が可能なものを

導入の背景、課題の部分でも申し上げましたが、AnyClutch Remote 導入前に利用していたサービスで課題となっていた、ドングルの維持管理が必要ないものが前提となります。持ち歩いていれば紛失や盗難による不正利用というリスクがありますし、遠隔操作側の端末にキーボードやマウス以外の USB デバイスを接続させたくないというセキュリティポリシー上の理由と、運用コストも少なからず余計にかかることとなります。

また、AnyClutch Remote に限らないと思いますが、リモートデスクトップサービスは、画面データ転送型ですから、遠隔操作される側（ホスト）のデータが、操作する側（クライアント）に残ることがありません。もちろん AnyClutch Remote の管理設定で、ホストとクライアント間のデータのコピーペーストやファイル転送も禁止でき、意図的なデータの詐取も防ぐことができたので、弊社のセキュリティポリシーに照らし合わせても問題ないものでした。

また、ドングルを持ち歩く必要が無いことは、利便性の向上にもつながります。さらにリモートデスクトップサービスの場合、画面データの転送速度が利便性の良し悪しを決める上で、重要なファクターだと思っています。比較検討の段階で、エアー社から評価用アカウントを出していただき、さまざまな帯域速度の回線でリモート接続を試してみましたが、当時、3G 回線のスマートフォンでも、マウスポインタの追従や、メニューやボタンをクリックしたときのフィードバックは、あたかもデスクトップパソコンを目の前にしているような感覚で、違和感がありませんでした。画面データ転送の遅延は、誤操作を誘発し作業効率を著しく下げるものですので、「データ転送スピードの速さ=利便性の維持」といえるのではないのでしょうか。

ご導入後の効果と今後の展望

スムーズに計画が進められて稼働結果も満足のいくものに

もちろん選定ポイントにあった「セキュリティの確保」した上で「利便性の維持・向上」が認められたので、当初の目的は達成できました。

実は、弊社の法人営業部で AnyClutch Remote サービスの販売もさせていただいております。つまりエンドユーザでもあり販売パートナーでもある訳です。最近では在宅勤務体制を構築する企業に対して東京都や国が補助金を出していますが、特に災害対策としての在宅勤務体制の構築でリモートデスクトップサービスを検討される案件が増えています。AnyClutch Remote を紹介する上で、特長である高速データ転送による「サクサクした操作感」を理解していただくには、実機によるデモンストレーションが必須です。

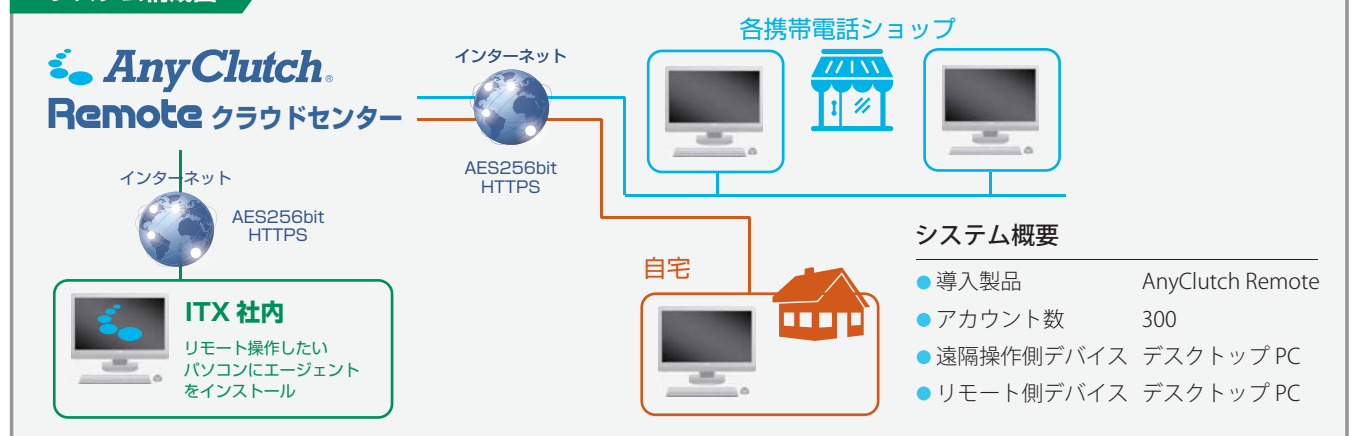
現在、弊社で利用しているライセンスは、携帯ショップ運営担当の事業部の管理職だけでなく、AnyClutch Remote の外販部隊の効果的なデモ用にも活用しております。

今後、エアー社に期待したいことは、細かい機能拡張を続けていてもらいたいのと、営業の後方支援となるような、Web コンテンツの充実化や、お問い合わせ窓口の拡張などですね。よろしくお願い致します。



ITX 株式会社  
法人営業部 法人営業ユニット  
ソリューションビジネスグループ  
グループ長  
野口 順 様

システム構成図



ITX 株式会社様、ご協力大変ありがとうございました。



株式会社エアー

東京 〒106-0032 東京都港区六本木2-2-8  
TEL:03-3587-9221 FAX:03-3587-9238  
本社 〒565-0851 大阪府吹田市千里山西5-31-20  
TEL:06-6368-6080 FAX:06-6368-6081  
URL <http://www.air.co.jp/>

AnyClutch は、株式会社エアーの登録商標です。

